

## 緊急地震速報の解説

既に多くの方々が見たり、聴いたりされたことが有ると思います。報知音は異なりますが、テレビ、ラジオ あるいは 携帯電話で 突如報知され びっくりされたことでしょう。

**緊急地震速報とは、地震の揺れの警報・予報です。**

地震は、P波と呼ばれる小さな揺れの後、S波と呼ばれる大きな揺れが来ます。緊急地震速報は、このP波をとらえ地震の規模や震源地を予測します。

気象庁は最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に緊急地震速報を発表します。

気象庁がこの緊急地震速報を発表すると、テレビやラジオ そして 携帯電話などで緊急地震速報が流れます。

大きな揺れS波が来る数秒前から数十秒前に発表するものです。緊急地震速報を見たり、聴いたとき、強い揺れが来るまでわずかな時間しかありません。

身を守ることを第一に落ち着いて行動することが大切です。

**周囲の状況に応じて慌てずに まず身の安全を確保する**

家の中では、机などの下に隠れ、まず身の安全を確保、慌てて外に飛び出さない。その場で火を消せる場合は火の始末、火元から離れている場合は無理して消火しない。

屋外では、自動販売機の転倒やガラス、壁、看板などの落下物に備えて建物のそばから離れる。

運転中では、ゆるやかに減速、急ブレーキはかけない。ハザードランプを点灯し周りの車に注意を促す。

列車、バスの車中では、つり革や手すりをしっかりつかみ揺れに備える。

揺れが届くまでの時間は震源からの距離によりますが、緊急地震速報を見聞してから1分程度は身を守り警戒しましょう。また、揺れた場合も1分程度は身を守る行動をとり続けてください。

### 注 意

緊急地震速報が発表されても、テレビ・ラジオが自動でスイッチオンにはなりません。テレビなど視聴していた際に、スーパーとして文字や音声を番組に重ねて放送されません。

毎月、1日の正午にNHKでテスト放送しているのは 緊急警報放送 というものでこの緊急警報放送に対応した テレビ・ラジオ であれば待機状態から自動的にスイッチオン になるものです。

津波警報・東海地震の警戒宣言等は緊急警報放送で放送され、緊急地震速報では放送されません。